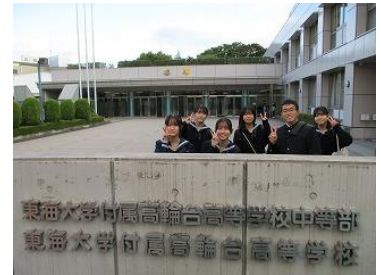




## 東高生が、各地の発表会で活躍しています！

### ○ 東海大学付属高輪台高校「SSH成果報告会」

10月29日(土)、東海大学付属高輪台高校で行われた「SSH成果報告会」に、本校の1年次生3名、2年次生3名の計6名が参加し、科学倫理に関するディベート、英語での学校紹介や研究発表を行いました。



#### ▽ ディベート

東海大学付属高輪台高校の1年生と、科学倫理に関するディベートとして「日本は、技術流出を防止するために、外国との共同事業・研究を禁止すべきである」というテーマで討論を行いました。



(ディベートの様子)

本校生徒は否定側での主張を行いました。結果としては引き分けて、「異なる立場どうして議論を深めようという態度が見られ、素晴らしい」と、評価していただきました。

#### ▽ 英語での発表

本校紹介、および探究活動の研究成果(The Relationship between Blade Dimensions and Voltage for Wind Turbines: プロペラから得られる電圧と羽根の長さまたは幅との関係)を、英語でプレゼンテーションしました。

東海大学付属高輪台高校の生徒と、他のSSH指定校の生徒約20名およびタイ王国の2つの学校の生徒約100名が聴衆でした。



(英語での発表の様子)

口頭発表のあと、ポスター発表も英語で行いました。質疑応答も英語で行い、苦労しながらも、質問者との議論を交わしました。

### ○ 「数学・理科甲子園 2022」

10月29日に「数学・理科甲子園 2022」が、甲南大学で行われ、本校の2年次生6名が出場しました。参加全55校で行われた予選(個人戦・チーム戦)では全員が奮闘しましたが、上位13校による本選に残ることはできず、予選敗退となってしまいました。

出場生徒からは、「見たことのない問題と接したとき、どうすれば答えにたどりつけるのかを考え

る力の必要性を感じた」、「チームで正解したときの嬉しさは、いつものテストでマルをもらうのとは別の嬉しさだった!」、「チームのみんなと知恵や知識を出し合って考える中で、学んだり考えたりすることは、改めて面白いと感じた」などの感想が聞かれ、全員が良い経験を積むことができました。



## ○「令和4年度 高大連携課題研究合同発表会 at 京都大学」



11月3日(木・祝)、「令和4年度 高大連携課題研究合同発表会 at 京都大学」が開催され、本校の1年次生2グループ、計8名が参加し、探究活動の成果を発表しました。

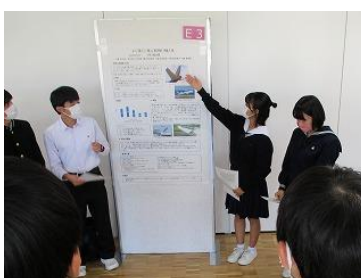
発表会では、京都大学大学院人間・環境学研究科の酒井敏教授の記念講演の後、15分(発表時間8分、質疑応答5分、アドバイスシート記入2分)のポスター発表を2回、行いました。

発表した内容は、

- ・ プロペラの質量と発生する電圧との関連性について
- ・ より遠くへ飛ぶ紙飛行機とは

の研究でした。

他校の生徒や大学院生、大学の教員の方々からアドバイスをいただいたり、他校の生徒の探究活動の発表を聴いたり、充実した時間となりました。



(発表の様子)

## ○「数学に関する研究発表会」

11月5日(土)、「数学に関する研究発表会」が、主催である龍野高校で行われ、本校の科学部生物系研究部サボテン班の生徒2名が参加しました。発表会ではまず、神戸大学理学研究科の渋川元樹助教による動画を視聴し、課題研究と高校数学の位置づけや、高校数学の学習法などについて学びました。また、折り紙を用いた多面体の作成を通じて、幾何に関する知見を深めることができました。

午後からは参加生徒12名による口頭発表が行われ、本校生徒はサボテンの刺座に関する数学的研究について発表しました。他校の発表でも積極的に討議し、有意義な一日となりました。



(実習・発表の様子)